



2006年8月16日

消費者の関心がピークに達した E85 プラグイン・ハイブリッド車を含む FFV(代替燃料車)に強い購入意向

2006年8月16日デトロイト発 - グローバル・マーケット・リサーチ大手のシノベイトが行った最新の調査によると、米国消費者の37%が次回車を購入する際、FFV(代替燃料車)を検討することが明らかになりました。しかしながら、E85対応車は燃費が悪いことを知ると、これらの消費者のうちの3分の1以上がE85対応車への興味をなくしてしまうことわかりました。

この事実は、シノベイトが半年毎に実施する先端エンジンおよび代替燃料車に対する消費者動向に関する調査の最新の結果から明らかになりました。

「消費者の関心は、ガソリンあるいはE85(エタノール85%)のいずれでも走行できるFFVに向いているようです」と、シノベイト・モータリサーチCEOのScott Millerは述べています。また、「しかしながら、消費者の多くはエタノール・モードで走行した場合、燃費が25%悪くなるということに気づいていません。この事実がFFVの売りに上げに影響を及ぼすとは思えませんが、熱心な購入者はこの事実に失望することでしょう。同時に、エタノール1ガロンあたりの価格がガソリンより相当安くなければE85対応車の消費に影響がでると考えられます」と、Millerはコメントしています。

重量トラックを除く自動車の新規購入を検討している1,240名の消費者を対象に行われたこの調査の結果から、米国消費者はハイブリッド車へ強い関心を示す一方、ハイブリッド車の購入を検討している人は全体の50%未満にとどまっていることがわかりました。

この調査で明らかになった最も意外な事実は、消費者がグリッド・コネクテッドあるいはプラグイン・ハイブリッド車購入検討に強い関心をもっていることです。技術に対する知識はまだ現在は少ないものの、グリッド・コネクテッド・ハイブリッド車に関する説明を受けた後では、調査対象者うち49%が購入を検討すると答えました。これは、標準ハイブリッド技術に対する関心のレベルとほぼ同等です。

グリッド・コネクテッド・ハイブリッド車は消費者へユニークなメリットをもたらします。シノベイト・モータリサーチ、代替燃料車調査担当マネージャーのTim Englehartは、「家庭で車の充電ができれば、ガソリンスタンドへ行く手間も省け、維持費の削減につながります。この技術に関して追加購入コストが未知であるものの、この新技術がもたらすメリットに対し、喜んで投資するという消費者はかなり多く存在しています。また、我が国の石油への依存を電力へ移行するための最適な手段にもなりえます。今後の動向を見守りたいと思います」と、コメントしています。

米国ではディーゼル技術が話題に上っており、シノベイトの調査のもう一つの焦点でもあります。ディーゼル車に関心をもつ米国消費者はハイブリット車のその約半数で、ディーゼルへの関心は低いようです。しかし、Millerはこの数字に惑わされてはいけないと警告しています。「ディーゼルに関しては、購入検討をしている米国消費者の割合ではなく、興味を示している消費者の割合なのです。もし、メーカー側が新しいディーゼル排気規制の基準をクリアできれば、新製品を出して市場およびその新製品の購買者層を驚かせることになると、当社の調査データは裏付けています」と、Millerはコメントしています。

シノベイトについて

シノベイトは、Aegis Groups plc のマーケティング・リサーチ部門として、競争力のあるマーケティング・営業活動を支援するため、消費者インサイトを発信しています。シノベイトでは、5,500名以上のスタッフが、世界50ヶ国に広がるネットワークを駆使し、顧客に必要なグローバルサポートと総合的なマーケティング・リサーチサービスを提供いたします。詳しい情報は、ホームページをご覧ください。www.synovate.com